

<上小牧憲寛カトマンズ報告>

UIAA Med Com meeting (国際山岳連盟医療部会)に参加するため、2009年11月14日深夜トリブバン空港に到着し、カトマンズに18日まで滞在しました。

11月15日はwelcome partyで委員の顔合わせをしました。3週間前にUIAA Med Com meetingで“Diploma in Mountain Medicine in Japan”の紹介をさせてほしいと突然お願いしたのだが、この部会会長であるDr. Buddha Basnyatは快く承諾して下さった。以後チケットや宿の手配、日本での仕事の整理、発表パワポの作成など目の回るような忙しさだった。

11月16日Med Com meetingに参加した。終了後ディナーまでに1時間休憩があったので、Dr. David Hillebrandt (英国。欧州における国際山岳専門医Diploma認定の最終責任者の一人)、堀井昌子先生、上小牧の3人で2010年度Diploma in Mountain Medicine in Japanの予定表(カリキュラム)をチェックした。パワーポイントをお見せしながら説明したが、Dr. David Hillebrandtはそれをご覧になり、まず「OK。よく出来ている。これで充分承認されるよ」とおっしゃった。貴重なご意見も多数いただいた。万々歳である。

11月17日研究発表会。Diploma in Mountain Medicine in Japanについてのプレゼンテーションを行った。既にDr. David Hillebrandtと前日話し合っていたが、パワーポイントを見せながらもう1回UIAA Med Comの会員全体に説明した。“Diploma in Mountain Medicine (DiMM) in Japan is now launching”と書いてあるが、application formはいつ正式に提出するのか」と質問され「1-2ヶ月以内に」と答えた。

帰国したら超特急での作業が待っている。

(発表用のpptファイルを示します。)